平成２４年度第４回企業倫理委員会　議事概要

１．日　時　　平成２５年3月１１日（月）　１４：００～１６：００

２．場　所　　中国電力株式会社　本社１号館１２階特別会議室

３．出席者

（委員長）	山下　　隆	会長
（副委員長）	馬場　則行	弁護士
（副委員長・幹事）	松村　秀雄	常務取締役（ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ推進部門長）
（委　員）	今中　　亘	中國新聞社　特別顧問
	磯村　定夫	中国地域ニュービジネス協議会　常任顧問
	苅田　知英	社長
（オブザーバー）	岩崎　恭久	常任監査役
（説明者）	藤井　弘昭	執行役員 ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ推進部門 ｺﾝﾌﾟﾗｲｱﾝｽ･ﾘｽｸ管理部長 兼．原子力強化プロジェクト専任部長

４．議事要旨

【委員長あいさつ】

島根原子力発電所においては，本年２月，安全性を一層高めるための新組織を設置するなど体制の強化を図っており，現在行っている更なる安全性の向上に向けた取り組みを鋭意進めていきたいと考えている。

当社としては，引き続き，お客さまに安定して電気をお届けできるよう，全社をあげて取り組むとともに，さらなる徹底した経営効率化に努める所存である。

コンプライアンスの推進についてであるが，当社がこれからも地域に根ざした企業として存続していくためには,お客さまの視点に立って，日々の業務に責任を持って着実に取り組んでいく必要性が一層高まっている。来年度は，ルールを遵守し基本に忠実な業務遂行を徹底させる観点から，施策に工夫を加え，取り組みを進めていきたいと考えている。

【１．コンプライアンス推進の取り組み状況について】

島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況，コンプライアンス推進施策の主な実施内容について説明した後，議論を行った。

＜主な意見＞

〔島根原子力発電所点検不備に対する取り組み状況について〕

○　島根原子力発電所点検不備への対応は，計画どおり順調に進捗している。

これまでに整備した原子力部門の業務運営の仕組み等については，マンネリ化防止のチェックを絶えず行い，柔軟性をもって運用してほしい。

○　不適合管理プロセスは順調に運用されている。発生したＢグレードの不適合事象そのものは軽微であるが，今後，発電所の再稼動に向けた取り組みが進んでいく中，重大な不適合事象を発生させないよう細心の注意を払って業務を行ってほしい。

〔コンプライアンス推進施策の主な実施内容について〕

○　役員が各事業所を訪問して直接社員に話しかけ社員の声に耳を傾けることは，コンプライアンス推進に向けて効果的な取り組みと評価している。来年度は，説明・質疑の時間を十分確保するとともに，社員が発言しやすい方法を検討のうえ実施してほしい。

○　不適切事案をみると，Ｈ１９年以降 コンプライアンス推進活動を強化してきたにもかかわらず，グループ企業を含め未だコンプライアンス意識が低いと言わざるを得ない。今後も，社員教育を徹底し，意識の向上に注力してもらいたい。グループ企業で生じた不祥事であっても中国電力グループ全体の信用失墜につながることから，グループ企業への一層の支援が必要である。

【２．内部通報制度の運用状況について】

平成２４年１１月～平成２５年１月における内部通報制度の運用状況について説明した後，議論を行った。

＜主な意見＞

○　内部通報制度は適切に運用されている。また，通報件数が増加していることについては，ＰＲ努力が功を奏してきていることの表れと見られ，よい傾向にある。

以　上

（添付資料）

資　料　「コンプライアンス推進の取り組み状況について」